

市民と歩む議員の会 議会報告

発行 市民と歩む議員の会 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 (吹田市役所内) TEL 06-6384-1231 (代表)

吹田市議会議員(無所属)

ば ば
馬場けいじろう

みんなで創ろう
元気な吹田!!



連絡先 〒564-0041 吹田市泉町5-3-5 TEL 06-6389-8555 FAX 06-6389-8558
E-mail babakeijiro@gmail.com URL http://www.baba-keijiro.com

どうなる?大規模アリーナ建設

現在、モノレール・万博記念公園駅前に大規模アリーナを建設する計画が進んでいます。

大阪府が所有する土地を民間事業者に50年間貸し出し、「大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表とする新たなスポーツ・文化の拠点づくり」というコンセプトのもと、駅前周辺を活性化させようというものです。公募の結果、5月19日に最優秀提案者とその提案概要が発表されました。

収容人数1万8千人は西日本最大級

最優秀提案となったのは、三菱商事都市開発、アンシュッツ・エンターテインメント・グループ、関電不動産開発の共同企業体による提案です。アンシュッツは、アメリカの世界的なスポーツ・音楽エンターテインメント企業で、プロバスケットボールのロサンゼルス・レイカーズも所有しています。

最大収容人数は1万8千人、固定席1万3400席で西日本最大級です。固定席1万5千席の横浜アリーナにはやや劣りますが、同9千席の大阪城ホールを上回り、世界フィギュアスケート、プロテニス、NBA公式戦などが開催可能になります。



来館者数は年間180万人、イベント開催は年間165回を想定しています。コロナ前に年間40万人程度を動員していたパナソニックスタジアム吹田を大きく上回ります。

着工は2023年で、アリーナを含む第I期の開業が2027年秋ごろ、ホテルやオフィスなどは2032年以降に順次開業し、完成は2037年の予定です。

市議会で決議「共同住宅の建設は不可」

ABCハウジング 千里住宅公園や、外周道路の外側にある千里住宅公園の駐車場2か所には共同住宅が計画されています。1千戸を超える規模のマンションも建設可能な規模です。

アリーナだけでは収支の見通しが立たないために、まとまった収入が期待できるマンション建設を提案内容に加えたものと考えられます。

しかし、今回の計画対象地区の中でも外周道路の内側は、大阪府と吹田市の協議を経て、スポーツ・レクリエーション地区として特別用途地区に指定されていて、吹田市の条例によって共同住宅は建設できないことになっています。

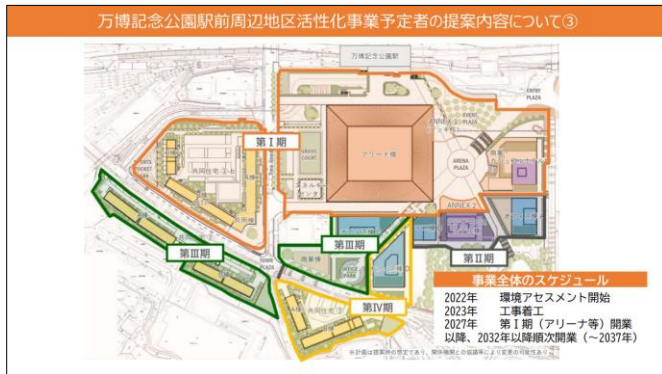
これは、万博の跡地は国民みんなの財産であり、個人的な使用を認めず、誰もが楽しめる場所として残したいという先人たちの想いがこもったものです。

ただし条例には例外規定があり、「市長が、地区の機能増進のため必要と認めて許可したもの」は建設することができます。

事業者の財政上の理由だけでは、この「機能増進のため」に当てはまらないと通常は解釈されますが、市長が解釈を捻じ曲げて安易に許可することがないよう、

5月の市議会定例会において「共同住宅の建設は認めない」旨の決議を賛成多数で可決しました。

今後、事業者が提案内容を変更してくるのか、注意深く見守る必要があります。



駐車場確保に対する見通しの悪さ

アリーナ建設に伴う駐車場の新設は予定されていません。来場者には公共交通機関を使ってもらおうという姿勢は理解できます。

しかし、アリーナは中央駐車場部分に建設されますので、その分公園全体での駐車可能台数は減ってしまいます。現在5つの駐車場の合計台数は4,490台ですが、そのうち中央駐車場は971台で、約22%も駐車可能台数が減ることになります。

普段は土日でも駐車場全体の使用率は30～40%とのことで、まだ余裕がありますが、ゴールデンウィークなどの繁忙期では90%を超えており、アリーナ建設後は満車となる可能性が高まります。

しかも、中央駐車場は太陽の塔に最も近く、利便性が高い駐車場だけに、公園利用者にとっては不便になります。

周辺地区への影響を考えると、代替駐車場を整備するとともに、キャリーカートに簡易テントなどを載せた家族連れでも利用できるような、公園内の移動手段の検討も必要となるでしょう。

モノレールによる輸送力の脆弱性

公共交通機関の最寄り駅は万博記念公園駅ですが、モノレールの輸送力は極めて脆弱です。

今でもパナソニックスタジアムでのガンバ大阪の試合終了後には、混雑してモノレールに乗車するまでにかなりの時間がかかります。

2019年に日本代表の試合があり、4万人が来場した際は、試合開始前から臨時便が出ましたが、それでも来る電車、来る電車が満員で、しばらく乗車する

ことができず、何本も見送ることになりました。スタジアムでの試合とアリーナでのイベントが重なると、大変な混雑が予想されます。

モノレールの車両数を増やす案もありますが、駅ホームの長さの問題があり、実現は容易ではありません。

大阪府として何らかの対応を考えるべきですが、解決策はまだ示されていません。

外周道路の渋滞対策が必要

モノレール問題で見られたように、公共交通機関が当てにならないため、自家用車で送迎してもらって来場する人が増えることが考えられます。

万博公園の外周道路は、今でも週末には渋滞が発生しています。そして、それを回避しようと周辺住宅地の生活道路に迷い込んでしまうクルマも多く、地域からは苦情が出ています。

今回のアリーナ建設についても、周辺の自治会から、交通環境を向上させ、住民の生活環境を確保するよう、大阪府および吹田市に対し要望書が出されています。

吹田市では大型開発の際、環境アセスメントの審査を受ける必要がありますが、交通対策に関しても厳しく審査されます。外周道路および府道茨木摂津線は大阪府の所管であり、大阪府から抜本的な対策が提案されることを期待したいと思います。

多くの市民から応援される施設に

大阪府が進める「万博公園駅前周辺活性化事業」については、反対するものではないですが、無条件で賛成するものではありません。

交通や環境など懸念される諸課題が払拭され、地域住民を始め、多くの市民から応援される施設となるよう期待しています。

提案概要からはポストコロナ時代にふさわしい施設とは言い難く、新たな技術が次々に開発、実用化される中、従来型の大規模集客施設が50年間も高く支持され続けるのか、大いに心配しています。

ポストコロナ時代にふさわしい大規模施設のあり方について議論する機会にしたいと考えています。

～吹田市政をより身近に～

 **YouTube**

始めました！

ぜひご視聴ください。

